



カレブ通信

2011 年 8 月 18 日
第 7 号

1 各地カレブの会の報告と予定

内容

- 1 カレブの会の報告と予定
- 2 メンバーからの報告と
祈りの課題
- 3 カレブ ストーリー 1
秋山幹生さん
- 4 カレブ ストーリー 2
西山久生さん

● 東京カレブの会

9 月の東京カレブの会予定

9 月 30 日(金) 御茶ノ水 OCC 402 号室 午後 6 時から 8 時半
参加者のみなさまからこの夏の証
西山久生さんのライフ・ストーリーと「こんなときバイブル」
プロジェクトその後の報告

● 宇都宮カレブの会

9 月宇都宮カレブの会の予定

9 月 3 日(土) 宇都宮シャローム 午後 3:00~5:30
外口琢朗さんのライフ・ストーリー

2 メンバーからの報告と祈り

1) 杉田 勉さん

私が運営しております J C I N のホームページで、牧師先生のお説教を配信しており、現在数名の先生方の動画を掲載しております。

来週、17 日(水)にカレブの会メンバー アガペーコミュニティチャーチの門谷邦子牧師のお説教を撮影させていただくことになりました。動画としての掲載は、翌週 23 日頃になるかと存じます。

もうひとつはお願いですが、すでに動画を掲載しております、イエスキリストリバイバル教会(横浜市港北区)の瀬尾恵美牧師のご主人瀬尾雅之さんも、副牧師として教会を運営されています。

(有) エス・イー・オーというディスプレイ関連の会社の社長でもあるのですが、この度大震災支援のための『チャリティ T シャツ』を制作されて販売を始められました。J C I N も販売のお手伝いをさせて頂いております。益金はすべて、クラッシュジャパンというキリスト教関連の組織を通じて、直接被災者の方に届けられます。(手数料など一切ありません。)この、チャリティ T シャツを、カレブの会の皆様にご紹介頂きたく存じます。

お申し込みは、チラシの申し込み書にご記入のうえ、直接お申込み下さい。お手数をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。

J C I N の URL : <http://www.jcin.jp/>

2) 小川徹夫妻

9 月 17 日、仙台カレブの会を立ち上げるための祈りと相談会が仙台で持たれます。小川夫妻、根田夫妻を中心に仙台の人々の間に広がってゆきますように。被災地で彼らが地の塩、世の光として輝きますように。

3) 山本文夫夫妻と星野隆三夫妻

山本ご夫妻の生活「いのちあふれる豊かな第二の人生」が百万人の福音 9 月号に紹介されました。クリスチャン新聞では星野さんの「宝探しの人生設計」(10 回連載)が掲載されています。是非、お読みください。両ご夫妻のインサイダー(隣人の友)としての歩みが祝福されますように。

どうか、神が私たちをあわれみ、祝福し、御顔を私たちの上に照り輝かせて下さるように。

それは、あなたの道が地の上に、あなたの実救いがすべての国々の間に知られるためです。

詩編 67:1,2

3 カレブ ストーリー（1）

秋山幹生

定年後の仕事、家庭



賛美する幹生、芳子ご夫妻

芳子さんのいやしのために
お祈りください。

60 歳を超えて体力、視力共衰え、家内の病等、マイナスに
思える状況も

創造主から私たちに

賜っていることですから、

主に従っていく私達が、
後で分かる『導き』を信じて
歩んで行きたいと思います。

1973年からの社会人生活38年間を終え、昨年9月30日スウェーデン系の外資企業を無事に定年退職しました。

1970年秋、20歳の時に国際ナビゲーターの学生キャンプに参加し、初めて聖書のメッセージを聞き、イエス・キリストと出会い、この方を救い主として受け入れる決断をしました。25歳で結婚、30代と40代のエネルギーに溢れていた時には、我家を開放して、一W兄（1年間）、M兄（1年間）、T兄（2年間）と合計4年間、共同生活をし、若者の集いや夫婦の集いを開いてきました。60歳を越えた今、私達夫婦に相応しい主への奉仕のあり方を祈っています。

2008年頃から夫婦で退職後の計画を話し合い、祈りによる導きが明確に与えられなかった2009年初め頃、カレブ会に夫婦で参加し始めました。カレブの会は、退職前後のクリスチャンたちと退職後のビジョンを分かち合う会でした。各人の入社から退職迄と、今主に導かれている事のプレゼンテーションを通して、自分の定年後の生き方の参考にする事が出来ました。

私達は20代から続けてきたゴスペルフォークの賛美奉仕と家庭の集まりを祈っていましたが、私の退職日が近付くと家内、芳子の体調が次第に悪化し、今に至っています。退職2年程前から、5年上で大学同窓のクリスチャンである先輩から声が掛かり、この会社で第二の人生を始める事が神様の導きかどうかについて祈り始めました。その間、聖書の導きを求めた結果、退職前に次の聖句が示されました。

「あなたが右に行くにも左に行くにも、あなたの耳はうしろから『これが道だ。これに歩め。』と言うことばを聞く。」イザヤ30:21

「これが道だ。これに歩め。」と示された第二の会社に入社後、何と大学が同窓の先輩が3人・後輩2人に会い、後輩の1人は高校も同窓でしたので、主の導きに感謝しました。今この後輩と互いの信頼を築き、よい『関係作り』を目指しています。

会社は、売上が毎年伸び、今は中国市場を目指し、現地事務所の法人化準備中です。この為、人手不足と長時間残業で、私個人の時間を削る状態であり、何とかこの問題を解決して行きたい願っています。

今後は、まず家内の体調回復を第一にしながら、私の仕事の体制整えていく事を目指します。60歳を越えて体力・視力共衰え、家内の病等、マイナスに思える状況も創造主から私達に賜っている事ですから、主に従って行く私達が、後で分かる『導き』を信じて歩んで行きたいと思います。

主が万事を益として下さる聖句、

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」
ロマ8:28

『神がすべてのことを働かせて益としてくださる』事を信じて、老後の信仰生活を送って行きたいと思います。仕事の忙しさの為に霊的に死んだ状態ではなく、『生きた供え物』として自分を主に捧げて行く事が出来るよう悔い改め、主の向かって歩いて行きたいと思います。

「そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきま知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」ロマ12:1,2

秋山幹生さんへの
お問い合わせ：
happy745i@live.jp

4 カレブ ストーリー (2)

“シビレ”こそ聖霊の働き

西山久生

私は今年の3月3日に脳幹梗塞（脳の中枢部の動脈の閉塞または狭窄で致死率が高い）で倒れました。それから早くも4ヶ月がたちました。順調とはいえませんがリハビリに通って元気に過ごしております。

自宅のすぐ前に10年ほど前から桜の名所になりつつある恩田川という川があり、今年の春も大勢の人が押しかけ 写真を撮りにきていました。両側の土手は散歩の出来る桜のトンネルになっており、長さは3キロぐらいあります。両側から桜の枝が伸び、川面に写って見事なものです。私は毎日そこを歩いて、デイリハビリに通っています。今は桜の花のかわりに葉桜のトンネルです。川にはせせらぎがながれ、大きな鯉が泳ぎ、鴨の子連れがあそび、時々白鷺やカワセミも見られ目と心が癒されます。ゆっくり時間をかけて施設に着きます。

忙しくて今までに味わったことのない心が静まる時間です。歩きつつ、たえず左半身を走り回る“シビレ”は、私のこころの中に、神様への恐れ、神様の愛、奇跡のことを思い起こさせます。四年前に八ヶ岳山上で心筋梗塞に見舞われたときには、神様を大声で呼び、助けていただきました。今回も またなぜ命を助けられたのでしょうか、このようなだらしのない人間をと。

自宅で一人で脳幹梗塞に見舞われたときから、病院で検査し、処置してもらうまでの1時間30分、私はなにがなんだか分からない状態のままでした。しかし全てが秒読みで良い方向に経過したのです。あと1時間遅ければ危なかったのでしょうか。後ほど担当医から“奇跡だね”といわれたときに、思わず“クリスチャンです”と言ったことがよみがえってきます。

今、私は神様が私を愛され、遣わされている。これはまさしく神様の試練、計画であったと確信しています。疲れ果てた私を神様はご存知でした。「私が呼ぶとき答えて下さい。私の義なる神。あなたは私の苦しみのときにゆとりを与えてくださいました。私の祈りを聞いてください。」詩篇4-1

いまの私の“シビレ”こそサタンではない、御霊の働きです。私に忘れることの無いように、神様がこの御霊を与えて下さったと思います。したがって神様は本当に生きておられるのだ。シビレを喜びとして受けとめ、信仰にある者の自信を持って毎日を過ごしていきます。

主の恵みに感謝して
西山久生

* 西山久生さんへのお問い合わせ：h-nishi@n-bible.com

「カレブ通信」●2011年8月18日第7号●カレブ・インターナショナル



西山久生さん

プロフィール

平成13年に松下電器総合サービスを退職。同年パナソニックのパソコンスクールを町田に設立。平成17年4月には(有)メイクソフト西山を設立。「こんなときバイブル」(CD-ROM)を発売中。受洗17年12月。

歩きつつ、たえず左半身を走り回る“シビレ”は、私のこころの中に、神への恐れ、神様の愛、奇跡のことを思い起こさせます。・・・今、私は神様が私を愛され、遣わされている。これはまさしく神様の試練、計画であったと確信しています。